

事務事業名		山田線道路改良事業			☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	07 防災対策の推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 地震・津波対策の推進					01	08	02	03	04
根拠法令											
所属	部課名	都市整備部建設課			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成12 年度 ～ 平成26 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	西山春仁									
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111							
	担当者	湯浅政之	内線	313							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
市道山田線は、赤崎町後ノ入地区と宮野地区を結ぶ連絡路線であるが、現状は未舗装で幅員が4m未満と狭く車両の通行に支障を来している。一方、本路線は津波等の災害時に沿岸沿いの県道大船渡綾里三陸線が不通となった場合、市街地方面への迂回路として位置付けられており、平成23年3月11日発生東日本大震災において、後ノ入地区への唯一の避難路及び緊急輸送路として利用され、その重要性が改めて認められたところである。 本路線の整備は、延長3,236m 幅員4.0mとし、平成21年度までに測量設計業務を全線完了、用地買収(10,977㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(1,419m)を行い、平成22年度に用地買収(509㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(230m)、平成23年度は用地買収(613㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(537m)、平成24年度は補償業務(立木等)、平成23年繰越分にて工事施工(285m)を実施している。平成25年度は平成24年繰越分にて補償業務(立木等)、工事施工(272m)、平成26年度は工事施工(493m)を予定している。本事業の完了は平成30年度の予定であったが、地域要望および震災による重要性の再認により早期の全線整備をめざし、平成26年度で事業完了予定とする。 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	153,000		
								都道府県支出金			
								地方債	147,200		
								その他			
								一般財源	7,800		
								事業費計 (A)	308,000		
								人件費			
正職員従事人数	30										
延べ業務時間	5,760										
人件費計 (B)	23,040										
トータルコスト(A)+(B)		331,040									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) H24繰越分:補償業務(立木等)、工事施工(272m) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) H26現年分:工事施工(493m)		名称	単位
		ア 用地買収面積	㎡
		イ 施工延長	m
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市道山田線、市道利用者(赤崎地区)		名称	単位
		カ 計画総延長	m
		キ 主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当り平均人口)	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (市道利用者に)より安全に利用してもらう (赤崎地区に地震など災害の際の)避難路および輸送路が確保される		名称	単位
		サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m
		シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 災害時に適切な対応ができる体制を整え、被害を最小限に抑える		ス	
		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円	9,970	32,063	18,013	37,063		
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円	6,300	20,300	11,400	23,400			
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	348	1,075	609	1,308			
	事業費計 (A)		千 円	16,618	53,438	30,022	61,771	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2			
		延べ業務時間	時 間	240	340	290	360			
		人件費計 (B)	千 円	960	1,360	1,160	1,440	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	17,578	54,798	31,182	63,211	0	0
⑤活動指標	ア	㎡	613	0	0	0				
	イ	m	0	766	272	493				
	ウ									
⑥対象指標	カ	m	3236	3236	3236	3236				
	キ	人	70	70	70	70				
	ク									
⑦成果指標	サ	m	1661	2427	2743	3236				
	シ	%	51.3	75.0	84.8	100.0				
	ス									

事務事業ID	0669	事務事業名	山田線道路改良事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ この市道は、有事の際に避難路及び緊急輸送路として利用される道路であるが、現道は未舗装のうえ幅員も狭いため、地域より道路の拡幅を要望され、平成12年度から事業を開始した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 地域の理解が進み、協力的になった。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市議会の赤崎議員会や赤崎地区公民館から、早期完成を強く要望されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 事業実施により、津波等の災害時に海岸沿いの主要地方道が不通になった場合、市街地方面への唯一の避難路及び緊急輸送路として利用されることから、安全なまちづくりの推進につながる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ この市道は、全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できる(災害時に安全な避難ルートが確保される)ようになるため、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(年度ごとの実績はあるが、全区間整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない。)	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ (災害時等に)安全に道路を利用できない。	
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	
	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。	

事務事業ID	0669	事務事業名	山田線道路改良事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	良好な事業実施が行われた。																						
② 有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成26年度事業完了に向け、事業を推進する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="2">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th rowspan="2">低下</th><th>維持</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
低下	維持		×	×																				
	(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果		(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)
2次評価者	建設課長	西山春仁

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	適切な事務執行がなされている。																						
② 有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成26年度事業完了に向け、事業を推進する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="2">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th rowspan="2">低下</th><th>維持</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
低下	維持		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
